

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科

社会科

学年

2年

1. 学習の目標

- ・身の回りで起こっている社会事象に興味・関心を持ち、自主的に社会科の学習に取り組めるようになる。
- ・社会に関する知識を用いて、自分の思考力、判断力を磨き、それを表現できる力につける。
- ・様々な資料を適切に活用する力を身に付ける。
- ・社会事象に関する知識、理解を深める。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
I 学期	<p>【地理的分野】 ○日本の地域的特色</p> <p>【歴史的分野】 ○戦乱から全国統一へ ○武士により全国支配の完成 ○天下泰平の世の中 ○社会の変化と幕府の対策</p>	<p>【地理的分野】 ・日本の地域的特色を、世界の特色と比較して理解する。</p> <p>【歴史的分野】 ・戦乱の世からどのように平和な世が築かれていったのかを理解する。</p>
2学期	<p>【歴史的分野】 ○日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方</p> <p>【地理的分野】 ○欧米諸国における近代化 ○開国と幕府の終わり</p>	<p>【地理的分野】 ・日本の諸地域の特徴を、各地域が抱えている問題から考える。</p> <p>【歴史的分野】 ・欧米から始まった近代化の影響を学ぶ。 ・ヨーロッパの近代化が日本の発展にどのように影響したのかを考える。</p>
3学期	<p>【地理的分野】 ○中部地方 ○関東地方 ○東北地方 ○北海道地方 ○地形図の見方</p> <p>【歴史的分野】 ○明治政府による近代化の始まり ○近代国家への歩み</p>	<p>【地理的分野】 ・日本の諸地域の特徴を、各地域が抱えている問題から考える。</p> <p>【歴史的分野】 ・日本の近代化の流れをつかむ。</p>

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	地理や歴史、公民に関する知識が身についているかや、表やグラフ、写真、地形図などからどのようなことがわかるかを的確に読み取る力。	定期試験、小テスト
②思考・判断・表現	地理や歴史、公民に関するできごとや事象がなぜ起こるのか、どのようにして起こるのかを考える力、人にわかりやすく説明する力。	定期試験 単元末評価シート 授業内発問の解答内容など
③主体的に学習に取り組む態度	地理や歴史、公民に関心を持ち、自分から積極的に学習に取り組める力。工夫して学習に取り組む力。粘り強く学習に取り組む姿勢。	提出物(ワーク等) 単元末評価シート 授業中の発言やリアクション、話し合いのようす

(2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

各観点において
とても満足できる場合 A
満足できる場合 B
努力を要する場合 C

各観点の評価をもとに評定を決定します。

定期試験で満点を取り「知識・技能」・「思考・判断・表現」がともにA評価であっても、章末評価シートやノート、ワークなど「主体的に学習に取り組む態度」がBまたはCの場合、評定が「5」にはならないということです。定期試験以外の評価が重要であるという認識をしっかりともって日頃から学習に打ち込んでほしいと思います。

4. 教科に関するアドバイス

昨年度に引き続き地理的分野と歴史的分野を学びます。従業語句を覚えるだけに留まらず、得た知識を使って自分の考えをまとめるという作業を重点的に学習していきます。まとめの記入を大切にしながら学習していきましょう。